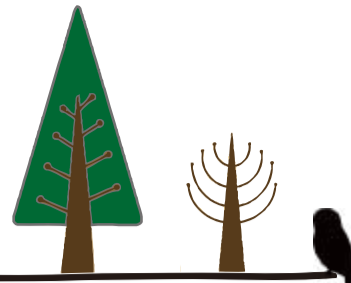




【12・1・2月の主催行事】 冬のイベント情報



牛久自然観察の森
季刊情報誌



森のしんぶん

冬号 No273

昆虫観察会

冬の昆虫教室 12/23(祝)

冬の林はとても静かですが、よく見ると天敵に見つからないよう上手に隠れている昆虫を見つける事が出来ます。みつけるコツを学びながら、隠れている昆虫を観察しにいきましょう。

時 間：午前9時30分～10時30分
対 象：小学生とその保護者
定 員：10組
持 ち 物：軍手
参 加 費：300円（小学生1人につき）
※保護者、幼児以下は無料
申し込み：電話にて受付中
備 考：雨天、強風時は中止。



植物ガイドツアー

園長の里山ガイドツアー

12/17(日)、1/21(日)、2/18(日)

植物を中心とした園内のネイチャーガイドツアー。里山に生息する植物の生態をわかりやすく解説しながらゆっくりと歩いて回ります。



時 間：午後1時～3時
対 象：成人向け
参 加 費：無料
申し込み：不要
集合場所：ネイチャーセンター前
備 考：雨天時、強風時は中止。

乳児・幼児向け

赤ちゃん木育ひろば 2/5(月) 休園日特別開催

木育ひろばのレクチャーと成長に合わせたおもちゃの紹介をします。ひろばで楽しく遊ぶ笑顔の写真撮影も行います。



時 間：午前10時～11時
対 象：6ヵ月以上1歳未満の乳児とその保護者
定 員：8組
参 加 費：大人1人500円
申し込み：電話にて事前申込み
講 師：SoundGiftShop 音賜 三浦ちよ子さん

バードウォッチング

冬こそバードウォッチング！

バードウォッチングをするには冬が良いとされています。ではなぜなのかをご紹介します。

オススメポイント

- その①：葉っぱが落ち、野鳥がみつけやすくなる。
- その②：秋～冬にかけて小鳥たちが群れて行動し、目立つ。
- その③：渡りをしてくる野鳥も多く、種類が増える。



定例バードウォッチング

12/17(日)、1/21(日)、2/18(日)

園内とその周辺を巡るバードウォッチング。雑木林や池、畑など多様な環境の中をゆっくり散策しながら野鳥を探しましょう。



時 間：午前9時～11時
対 象：一般
参 加 費：無料（予約不要）
持 ち 物：双眼鏡（無料貸出有）、筆記用具
集合場所：ネイチャーセンター前
備 考：雨天時、強風時は中止。

牛久沼 de バードウォッチング 1/6(土)

冬の牛久沼はたくさんの水鳥が飛来しゆっくり泳ぐので、バードウォッチングを始めたい方にも最適です。林にも囲まれ山の鳥が見られ、運がよければタカの仲間にも出会えます。



時 間：午前9時～11時
対 象：一般
定 員：15人
参 加 費：1人300円
持 ち 物：双眼鏡（無料貸出有）、筆記用具
集合場所：牛久観光あやめ園駐車場
申し込み：12/1（金）から事前申込み

展示会のご案内♪

ネイチャーフォトクラブ写真展

牛久自然観察の森を拠点として、茨城県やその近辺で自然の写真を撮っている牛久ネイチャーフォトクラブの会員の方たちが、牛久自然観察の森で写真展を行います。会員の方たちが各地で撮影した渾身の作品をぜひご覧下さい。

日 程：1/16（火）～1/28（日）
時 間：午前9時～午後4時
場 所：ネイチャーセンター内レクチャー室
備 考：1/22（月）は休園日、28（日）は午後3時30分まで。
主 催：牛久ネイチャーフォトクラブ



バードカービング作品展

牛久自然観察の森で毎月第1、第3土曜日に活動しているバードカービング同好会の方たちが今まで作ってきた作品を展示します。今にも動き出しそうな生き生きとした野鳥の姿は、木で作られたものとは思えません。年に1回の展示会、ぜひお越しください。

日 程：2/17（土）～2/24（土）
時 間：午前9時～午後4時45分
場 所：ネイチャーセンター内レクチャー室
備 考：2/19（月）は休園日。17（土）は午後1時から、24（土）は午後1時まで。
主 催：牛久バードカービング同好会



室内で過ごそう！

木のおもちゃで遊ぼう！

木のプールやドールハウス、積み木、からくり玩具など国内外から集めた60種類以上の木のおもちゃで遊ぶことができます。また木育広場の大きな窓からは林も広がりますので、ゆっくり遊びながら森も眺めることができます。

時 間：午前9時30分～午後3時45分 ※受付は午後3時15分まで
（2月～10月は午前9時30分～午後4時30分 ※受付は午後4時まで）
体験料：1人300円（0歳児無料、3時間まで）



冬限定 薪ストーブでホっこり

牛久自然観察の森では冬の寒い時になると、土日祝限定で薪ストーブを点火します。本物の火は、身体はもちろんの事、見るだけで心まで暖かくしてくれます。1階ラウンジでは薪ストーブのすぐ近くにソファや絵本があるので、お弁当を広げたり、子どもに絵本を読み聞かせたりしながらプライベートな時間を過ごすことができます。



申し込み & お問い合わせ 029-874-6600

開園時間 9:00～16:00 (2月～10月は16:45迄)

休園日 12月：4(月)、11(月)、18(月)、25(月)、29(金)、30(土)、31(日)
1月：1(月)、2(火)、3(水)、9(火)、10(水)、15(月)、22(月)、29(月)
2月：5(月)、13(火)、14(水)、19(月)、26(月)



イベント情報は
公式HPでも
ご覧頂けます。

野鳥



アカゲラ
鳴き声は「キョキョ」で、木を垂直にとまりながら上下に移動する。



ハイタカ
オオタカに似るが、少し小さい。オオタカに食べられる事もある。



モズ
高い所にとまり「チキチキ」と鳴く。ハヤニエで有名。



ツグミ
原っぱや畑で見つかる。止まるときは気をつけの体勢になる。



ジョウビタキ
目立つところにとまり「ヒッヒッカカ」と鳴く。郊外でみることも多い。

昆虫



カブトムシ
11月には3齢幼虫になる。冬の間はあまり動かない。



カマキリの卵
種類により産む所や形が違う。色々な場所で見つけてみよう。



イラガの繭
鳥の糞に擬態していると言われる。同じ模様のものはない。



テントウムシ
石の隙間や木のウロ等で集団で越冬することがある。



ルリタテハ
成虫で越冬する。暖かい日はひなたぼっこしていることがある。

植物



ロゼット
いくつかの植物は冬も葉を放射状に広げ生き延びている。



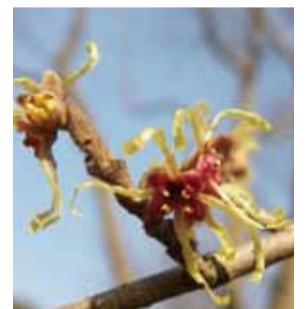
サザンカ
ツバキに似るが花の散り方が違う。メジロが集まりやすい。



葉痕
冬になり葉が落ちた痕で、植物によって違う。上の写真はアジサイの葉痕。



冬芽
寒さなどから葉を防ぐためのもの。植物により形が異なり、上の写真はコブシの冬芽。



マンサク
2月頃に咲き始める。「まず咲く」が転訛したといわれる。

生き物コラム



冬の林に目を向けてみると、葉っぱが落ち、昆虫の気配を感じません。春から秋にかけて活発に動いていた昆虫たちが嘘のようです。

昆虫は寒さでほとんど動けないためじっとしています。ただじっとしているだけでは天敵の野鳥などに見つかってしまうため、とてもうまく隠れているのです。

昆虫たちが隠れている所をいくつかご紹介いたします。クワガタムシの幼虫は倒木などの木の中、テントウムシの仲間石の下等、チョウの蛹やガの繭は木の幹等、林の中の様々な所が隠れ場所として利用されています。



ゴマダラチョウの幼虫。食草のエノキの根元の葉裏で越冬する。

観察の森で一番見つけづらい昆虫はホソミオツネトンボと言っても過言ではないでしょう。

このトンボは寒い時期にコナラなどの木の枝の先についていることが多く、しっかり見ないと見過ごしてしまいます。



枝の先に付いているホソミオツネトンボ。雑木林の中を歩いていると見逃す事が多い。

冬は、野鳥が見やすい時期とされています。葉っぱが落ち、シジュウカラやコゲラなどの小鳥たちは混群といって平均10羽ほどで群れて行動する習性があるためです。野鳥も冬を生き抜くために必死で、秋に実った木の実を探しまわったり、落ち葉をひっくり返して昆虫やミミズなどを探したりしている姿を良く見かけます。

時々カマキリの卵がボロボロになって落ちている事がありますが、これは野鳥に見つかり中の卵を食べられた跡です。



半分なくなったオオカマキリの卵のう。見つけた時には中の卵は無くなっていた。

昆虫や野鳥など生き物は冬を乗り切るために様々な工夫をしています。観察の森は木も多く広いため、生き物の種類が豊富で棲んでいる数も多いですが、皆さんの周りの公園など春から秋に生きものを見つけた場所では今も生き物が棲んでいる可能性が高いのでぜひ探してみてくださいね。こんな所にいるんだ！という驚きや発見があると嬉しいです。